

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11078	2	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	生涯発達ケア論 (Human Development and Nursing)				
担当教員名	○篠木絵理/富岡晶子/高山裕子/岡田弘美/ 槌谷亜希子/阿部桃子/谷本真理子/櫻井智穂子				
授業の概要及び到達目標					
<p>○概要：本科目では、人間が生から死までの生涯にどのような経験をして変化するか、身体面・心理面・社会面等の機能はどのように相互に関連し合い、全体としてダイナミックに変化するのか、これらの変化の過程を学ぶ。その上で、看護の専門職としての関わりや、支援の対象者となる人間を深く理解することをめざす。</p> <p>○到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯発達概念および理論を理解し、説明できる 2. 小児期・思春期・青年期・成人期・老年期にある人の身体的成長・心理社会的発達の特徴を理解し、説明できる 3. 生涯発達における母性・父性の発達の特徴を理解し、説明できる 4. 生涯発達における家族発達の特徴を理解し、説明できる 5. 発達に応じたケアについて理解し、説明できる 					
準備学習等					
看護学概論で学修した内容、特に、看護の対象論、各領域による「看護とは」の内容は受講前に復習しておくこと（予・復習 30 時間）。その他、必要時に講義内で提示する。					
成績評価の方法	<p>評価の基準は、次のとおりとする。</p> <p>【筆記試験】80% 筆記試験の出題範囲は、第 1 回目から第 15 回目までの授業内容とする。筆記試験は最終試験として定期試験期間に行い、各内容の達成度を評価する。</p> <p>【課題レポート】20% 課題は授業内（第 14 回）で提示する。</p>				
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護のための人間発達学第 5 版」（舟島なをみ/望月美知代著：医学書院） ・「老年看護学概論「老いを生きる」を支えることとは 改訂第 2 版」（正木治恵/真田弘美編著：南江堂） 				
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・「生涯人間発達学 改訂第 2 版増補版」（上田礼子著：三輪書店）（※） ・「家族看護学 19 の臨床場面 8 つの実践例から考える」（山崎あけみ編：南江堂）（※） <p>その他、適宜講義内で提示する。</p>				
備考	<p>看護学概論の内容を踏まえて学修することを期待する。</p> <p>各教員のオフィスアワーについては、履修案内の看護学科「オフィスアワー」の項を参照。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図を確認すること。</p> <p>各講義で取り組んだ課題は、添削後に返却する。振り返り学修に活用すること。</p>				

授 業 計 画

- | | |
|------|-----------------------------|
| 第1回 | 生涯発達に関する理論【講義】(篠木) |
| 第2回 | 家族の発達【講義】(高山) |
| 第3回 | 母性・父性の発達1【講義】(槌谷) |
| 第4回 | 母性・父性の発達2【講義】(槌谷) |
| 第5回 | 小児期の発達1：乳児・幼児【講義】(篠木) |
| 第6回 | 小児期の発達2：乳児・幼児【講義】(篠木) |
| 第7回 | 小児期の発達3：学童・思春期【講義】(富岡) |
| 第8回 | 成人期の発達1【講義】(谷本) |
| 第9回 | 成人期の発達2【講義】(櫻井) |
| 第10回 | 成人期の発達3【講義】(谷本・櫻井) |
| 第11回 | 老年期の発達1【講義】(阿部) |
| 第12回 | 老年期の発達2【講義】(阿部) |
| 第13回 | 老年期の発達3【講義】(阿部) |
| 第14回 | 生涯発達と家族の発達：総括【講義】(篠木) |
| 第15回 | 生涯発達と発達に応じたケア【講義・演習】(篠木・岡田) |